



北海道 バイオ・材料イノベーション

オンリーワン装置の紹介:湿式微粒化装置

(株式会社 常光 ナノジェットパル JN20)



製品の特長:

高圧ポンプによって加圧された試料はジェット流となり、直線ジェット流の衝突による微粒化が生じます。スラリー状試料を微粒化する湿式ジェットミル装置です。最大200 MPaの高圧で分散・乳化・解砕を行います。研究・開発現場でのナノ粒子の分散に威力を発揮します。分散性の悪いカーボンナノチューブに対しても短時間に効率よく、しかもカーボンナノチューブを傷つけることなく分散させる事が出来ます。産業応用としては、電池電極材料の微粒化や均一分散処理、化粧品材料の乳化等が可能です。

装置の特徴:

- ナノレベルの粒径を実現
- コンタミネーションが極小
- 微量サンプルの処理に最適 (最小8 ml)
- 高濃度高粘度のサンプルでも処理可能 (20000 cPまで対応可能)
- 最高200 MPaの高圧処理が可能
- 粗粒を含む試料も前処理無しに一気に処理可能

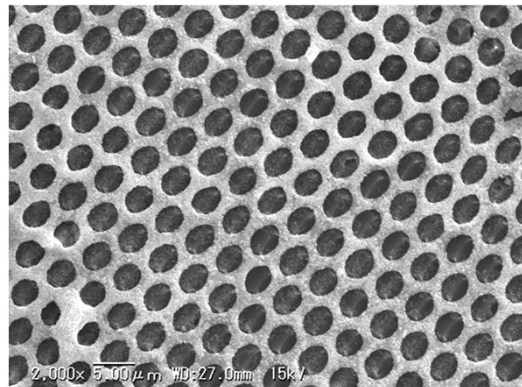
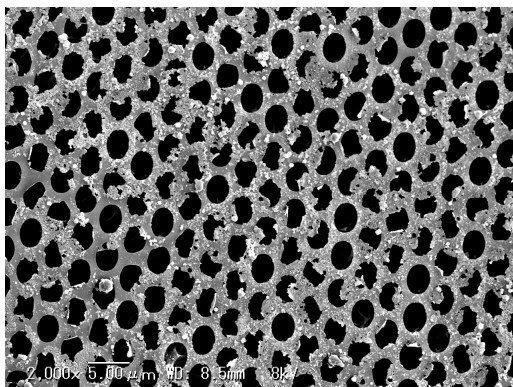


Figure 1. 左はゾル-ゲル法で生成した酸化チタン分散液にハニカムフィルムを浸漬したもののSEM像。右はジェットミルで処理した酸化チタンのナノ粒子をハニカムフィルムに吸着させたもの。ジェットミルで粒子が細分化されていることがわかる。

お問い合わせ先

公立千歳科学技術大学

〒066-8655 北海道千歳市美々758-65

公立千歳科学技術大学 ナノテクノロジープラットフォーム事業 担当宛

TEL:0123-27-6003 FAX:0123-27-6007 E-mail:kenkyu@photon.chitose.ac.jp